

# 患者の皆様へ

令和元年 7 月 13 日

眼科

現在、眼科では、「緑内障」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では緑内障の患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

**1. 研究課題名** 「白内障手術併用マイクロフック ab interno トラベクロトミーの短期術後経過」

## 2. 研究の意義・目的

緑内障手術には、大きく分けて緑内障濾過手術と緑内障流出路再建術の2種類があります。マイクロフック ab interno トラベクロトミー (μLOT) は流出路再建術です。この術式は低侵襲緑内障手術に含まれる新規緑内障術式であり、眼内アプローチにより専用のフックを用いて線維柱帯を切開する術式です。

今回、この術式と白内障を組み合わせることで、眼圧低下と視力改善の2つを期待することができます。

術後結果を解析することで今後の新たな術式を提案しようとするものです。

## 3. 研究の方法

本研究は白内障手術併用緑内障流出路再建術を施行した方を対象に、術前後の視力、眼圧、線維柱帯切開範囲、手術関連合併症を検討し、解析を行います。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院眼科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

## 5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。ので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学医学部附属病院眼科

**本件のお問合せ先** : 医学部附属病院眼科

**医師** 白戸勝

043 (222) 7171